

新潟市算数部

部長 間嶋雅樹（新潟小学校）

1 研究主題

算数を生活や学習に活用し、いきいきと学ぶ子ども

～課題解決に向けての見通しのもたせ方の工夫～

2 研究主題設定の意図

学習指導要領では、5つの改善の方針が示されている。そのうち、「算数の学ぶ意欲を高めたり、学ぶことの意義や有用性を実感したりできるようにする」という点に着目した。具体的に次の点があげられている。

- ・数量や図形の意味を実感的に理解する
- ・反復（スパイラル）による教育課程により、学習の進歩が感じられる
- ・身に付けたものを、日常生活や他教科の学習、より進んだ算数・数学の学習へ活用していく

以上を踏まえ、本年度は、算数を活用する場面を通して、いきいきと学ぶ子どもに焦点を当てて取り組むこととした。また、昨年度の反省から、子どもに与える課題の工夫だけでなく、どのように既習を活用させていくのかという見通しのもたせ方が、大きく意欲にもかかわることが分かり、副題とした。

3 事業の実際

- 5月 算数部年間計画および研究計画の検討（役員会）
- 6月 新潟市を5つのブロック（北東区 江南秋葉区 中央区 南西区 西蒲区）に分けてのブロックの年間計画や研究授業計画の打ち合わせ
- 7月 各ブロックの指導案検討会
- 8月 新潟市マイスターによるワークショップ研修会（岩室小学校にて）
林 なおみ主幹教諭 「算数指導で押さえておく重要ポイント」
市川 啓教諭 「授業に役立つ教材・教具の使い方・選び方」
小林由希恵教諭 「算数ボックスの極意教えます」
- 9月 各ブロックの指導案検討会
- 11月 研究授業

江南秋葉区 金津小学校 泉田悠貴教諭 6年「拡大図と縮図」

「拡大図と縮図」の発展問題（校舎の高さを求める）に取り組ませた。長い文章題から必要な情報を取捨選択させ、イメージ図を全員で確認した。さらに、校舎の高さを求めるために、各自で設定した縮尺をもとに、縮図を描いた。授業の終わりには実際の校舎の高さと求めた数値がほぼ同じことに驚き、縮図を描くよさを感じる子どもの姿が見られた。

中央区 鏡淵小学校 鈴木暁子教諭 6年「比例・反比例」

エアコン買い替えの場面から導入し、「なぜ、店員さんは「ずっと使うと『省エネ』がお得だ。」と言ったのか」その秘密を探ろうとした。子どもは、2台のエアコンの値段差の情報の他に、2台の電気代と月数を表したグラフが比例の関係になっている情報を利用して考えればよいのではないかと、活発な話し合いの中から解決の見通しを見付けていった。

どういう場合に「お得」になるか、表・グラフ・式などをもとに自力解決した後、節約した電気代の合計が、2台のエアコンの値段の差である24000円を超えたとき、お得になるという秘密を探りあてた。つまり、一般的な使い方ですと使い続けた場合、省エネの方が48ヶ月後以降にお得になることをつきとめた。

南西区 東青山小学校 伊藤祐輝教諭 1年「たしざん(2)」

繰り上がりのあるたし算の式を、縦に和が等しいものを並べ、横に被加数が等しく、加数が1ずつ増えている式を並べたものを子どもに提示した。提示した段階で、縦と横の並びに規則性があることを子どもは見付け、考えを述べていた。所々、穴あきにした式を当てることができた。

授業者が、見付けた規則性を確認させようと、被加数と加数を色別にしてブロックを並べさせ、被加数と加数の変化を操作で子どもに理解させようとした。

西蒲区 巻北小学校 三浦智恵子教諭 3年「小数」

3年生『小数』で、「整数と小数の混じった4口の加法の計算のしかたを考える」という課題について考えた。

「0.1のいくつ分と考えて整数と同じように計算する」、「筆算で位をそろえていっぺんにたす」、「合わせると整数になる小数からたす」など、子どもたちは自分の考えを書き表し、筋道の通った説明を述べた。聞き手の子どもたちにも「友達の考えを理解しよう」、「自分もあのやり方でやってみよう」という追求の意欲が強く感じられた授業だった。

○12月 研究授業

北東区	江南小学校	田沢紀子教諭	1年「かたち(2)」
	下山小学校	石塚貴子教諭	5年「図形の面積」
江南秋葉区	亀田小学校	磯部春美教諭	1年「大きさをくらべ」
中央区	南万代小学校	船越朗教諭	3年「三角形」
南西区	大野小学校	佐藤加津江教諭	6年「比例・反比例」
西蒲区	巻北小学校	樋浦教之教諭	5年「図形の面積」

4 今後の予定

- 1月 各ブロックで講演会やレポート研修会
また、例年作成している「研究のまとめ」の冊子を作成する
- 2月 今年度の反省と来年度の計画立案